

平成 19 年 1 月 2 5 日

第 41 回 番組審議委員会 議事録

- 1 . 開催日時 平成 19 年 1 月 18 日
2 . 開催場所 株式会社 奈良シティエムコミュニケーションズ
3 . 委員総数 7 名
出席委員数 4 名
出席委員の氏名 佐久間 重彰、玉置 知子、藤井 和美、森元 賢治
欠席委員の氏名 大矢 康子、滝 直子、西田 哲雄
(アンケート提出)
放送局側出席者 中川 直子
4 . 議 事 番組審議
その他
5 . 議事の概要 番組審議 試聴番組について説明

「It's Bluegrass time」

毎週火曜日の午前 9 : 15 (再放送は日曜日午後 0:31) から 15 分間の番組です。中川千尋と上岡みよがブルーグラスを広く一般の方に知っていただきたいとの思いで作っています。毎回テーマを決めて、ブルーグラスを紹介しています。今回は 11 月 28 日放送分です。感想をお聞かせください。

○「BOOKBOOK」

市民参加番組時間枠での放送で、毎週日曜日 午前 9 時 (再放送 水曜日午前 10 時 30 分) から 30 分間 パーソナリティ長尾佐智子が映画化・ドラマ化されたものの原作の紹介、役立つ 1 冊、本のランキング、お勧めの本など、本にまつわるお話をしています。今回は 12 月 24 日放送分をお聞きいただきます。ご意見をお聞かせください。

- 6 . 審議内容 番組審議
(1) 番組試聴
委員よりの意見

○「It's Bluegrass time」

最近ほとんど耳にしなくなったブルーグラスを久し振りに聞いてとても懐かしい気持ちになりました。演奏楽器を変えることで違った曲に聞こえるのもおもしろいと思いました。

1 つの曲で、3 つのバンドの聴き比べは、番組内容としてとてもよかったです。同じ曲でも違う楽器によって、曲の雰囲気が変わるんだなと感じました。楽器の詳しい説明があっても良かったと思います。

あまり聞きなれないジャンルの音楽を聞いて楽しめました。何度聞いて

もトークに関しては印象は薄かったです。

全然興味のない分野でわからない音楽なので、何を書けば良いのかさえわかりません。でも好きな人には「たまらない」って感じなのでしょう。ただ何かをしながら聞くにはいいかもしれませんね。

曲は軽快で良かったですが、説明や曲に対する感想がもう少しはあった方が、ブルーグラスを知らない人にも親しみやすくなるのではないのでしょうか。

軽快なメロディで親しみやすい音楽であることが番組でよくわかりました。ただ、もう少し曲やジャンルの解説があればいいかもしれません。この番組はミニスポットなので、この種の音楽を流しその良さをもっと紹介してもらいたいと考えます。

「ブルーグラス」と言われても、何のことがよくわからない私にとっては、どう評価したらいいのか困ってしまいました。「ウエスタン」とか「カントリー」とか言われた方が馴染みがありますが、それもアメリカの演歌みたいなもの？ぐらいの認識です。興味のない一般リスナーには少し退屈かもしれません。

軽快なメロディで親しみやすい音楽であることが番組でよくわかりました。ただ、もう少し曲やジャンルの解説があればいいかもしれません。この番組はミニスポットなので、この種の音楽を流しその良さをもっと紹介してもらいたいと考えます。

○「BOOK BOOK」

番組を聞いていかに自分が本を読んでいないかを改めて認識しました。ランキングに入っている本が、どんな本なのかわからないのが残念です。30分と言う放送時間の中で、本の色々な情報や内容が紹介されて良かったと思います。あまり本を読まない方なんですがこの放送を聞いて1冊でも読んでみようと思いました。

本よりもテレビ番組に興味を持ちました。本のランキングを聞くと読みたくなってきました。

華麗なる一族は興味があったので、こうやって紹介されると本もドラマも読んでみたくなりました。わかりやすく説明されていて良かったと思います。本のランキングは名前を言われるだけなので、ちょっとわかり辛い感じがありました。役立つ一冊は今回のは私にとっては少しむずかしく、読んでみたいとはちょっと思うことができませんでした。おすすめ本の方がおもしろく興味をもつ事ができました。

「華麗なる一族」のストーリーの説明はゆっくりとした口調で分かりやすかったです。ちょうど興味を持っていた本だったのでドラマも見たいと思いました。後半の方はずっと聞いていると、話し方がゆっくりしすぎていような気がしました。本の説明はどれも分かりやすかったです。

本を読みたいけど何を讀もうか迷った時に聞きたい番組です。

木村拓哉主演でドラマ化が決まっていた華麗なる一族を紹介したのはよかったですと思います。昨日第 1 回目の放送を見た後でこのテープを聞いたので間違いに気づきました。パーソナリティの方は、鈴木京香さん扮する高須相子は鉄平の愛人と言われていたのですが、鉄扉の父大輔の愛人だと思うのですが…。テレビを見ていなければ気づいていなかったかもしれせん。

パーソナリティはさわやかさが全面にでて耳に心地良く入ってきました。番組構成や時間的なものも充分だと思います。活字離れがいわゆる昨今少しずつ歯止めにもなれば幸いです。

○その他、番組についてのご希望、ご意見

番組審議委員会の内容（議事録）を放送してはどうでしょうか

7. 会社からの答申

・最近ブルーグラスを流す放送局も少なくなりましたが、当社にはブルーグラスに詳しい人材がおり、番組を制作しています。数ある番組の中で少しでも選択肢が増えればという思いもあります。

・ご意見を今後の番組づくりの参考にさせていただきます。

8. 審議機関の答申または、改善に対してとった処置およびその年月日

パーソナリティに対し、議事録の配布（1月下旬予定）

9. 審議機関の答申または、意見を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

第 41 回番組審議委員会議事録は、事務所と一般見学者スペースに据置

また、当社ホームページ（<http://www.nara.fm>）にて、2月上旬公表。

10. その他参考となる事項

なし